(第1面)

### 産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 日

宮崎県知事 殿

提出者

住 所 福岡県福岡市中央区清川2-13-6

氏 名 株式会社九建 代表取締役社長 宮﨑 修

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 092-523-9123

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 九建
事業場の所在地	福岡県福岡市中央区清川2-13-6
計 画 期 間	令和4年4月1日から令和5年3月31日
当該事業場において現に行	っている事業に関する事項
①事業の種業	総合工事業
② 事 業 の 規 植	令和4年度 請負完成工事高 16,094百万円
③ 従 業 員 紫	187名
④ 産業廃棄物の 一連の処理の工程	

(日本工業規格 A列4番)

産業	<b>検廃棄物の処理に係る</b>	· 管理体制	削に関する	事項				
	(管理体制図)							
				別紙	のとおり			
産業	<b>達廃棄物の排出の抑制</b>	川に関する	5事項					
		【前年度	度( 令和	4 年度	)実績】			
		産業原	廃棄物の	種類_	金属くず		木くず	
		排	出	量_	1. 7	t	224. 13	t
	①現状	(これま	までに実施	した取	 組)			
	少先扒	作業工法等の見直しを進め、現場における廃棄物発生量を削減。						
		【目標】						
		産業原	廃棄物の	種類_	金属くず		木くず	
		排	出	量_	1	t	200	t
	②計画	(今後ま	<u></u> 実施する予	<u></u> 定の取	 組)			
		今後も作業工法等の見直しを進め、 現場における廃棄物発生量の削減を図る。						
		児場によ	0りる廃果	物発生	重切削風を凶る。			
産業	<b>検廃棄物の分別に関す</b>	「る事項						
					物の種類及び分別			
	①現状		ックス等を 放底を図っ		従業員に自覚教育 。	を実施	けることで	
		(全谷公	別する予?	七の産当		K/子PIII	こ関する取納)	
	②計画	今後も分	分別ボック	スの設	を廃棄物の種類及じ 置や従業員に自覚			
		分別の箱	放底を図る	0				

発棄物の再生和 かっちゅう こうかん かんしゅう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	<u>(第3面)</u> 関する事項				
( j	( 令和4 年度) 実	績】			
産	棄物の種類_	金属くず		木くず	
	利用を行った 乗物の量	0	t	0	t
	でに実施した取組)				
ニオ	に自社で再生利用を	行ったことは	はない。		
[]					
産	棄物の種類_	金属くず		木くず	
	生利用を行う 乗物の量	0	t	0	t
	: 乗 物 の 単┃ 施する予定の取組)				
,	社で再生利用を行う	予定はない。			
廃棄物の中間処					
		績】			
<u> </u>	棄物の種類_	金属くず		木くず	
自産	回収を行った ⋮棄物の量	0	t	0	t
自ら産	理により減量した 棄 物 の 量	0	t	0	t
	でに実施した取組)				
こ   -	に自社で中間処理を	行ったことは	はない。		
[ [					
産	棄物の種類_	金属くず		木くず	
自産	回収を行う	0	t	0	t
	理により減量する 棄 物 の 量	0	t	0	t
(2	 施する予定の取組)		.!		
		予定はない。			
自ら産 (4	乗物の量     理により減量する	0			

白ら行う産業成畜			
日の17月生来廃来	【前年度( 令和4 年度)		
	産業廃棄物の種類_	金属くず	木くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
①現状	(これまでに実施した取組) これまでに自社で埋立処分:		を行ったことはない。
	【目標】		_
	産業廃棄物の種類	金属くず	木くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	(今後実施する予定の取組) 今後、自社で埋立処分また		う予定けない
産業廃棄物の処理	の委託に関する事項 【前年度 ( 令和4 年度)	実績】	
	産業廃棄物の種類_	金属くず	木くず
	全処理委託量_	1.7 t	224. 13 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処理 委託 量	0 t	148. 74 t
①現状	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特定建設資材は確実にリサ		•

(第5面)

	【目標】	ш,	
②計画	産業廃棄物の種類_	金属くず	木くず
	全処理委託量_	1 t	200 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1 t	200 t
	再生利用業者への 処理委託量	1 t	200 t
	認定熱回収業者への処理 委託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取約 今後も、特定建設資材は研		•
※事務処理欄			

産業	<b>  検廃棄物の処理に係る</b>	5管理体制	訓に関する	事項				
	(管理体制図)							
				別紀	のとおり			
				73.1112	v)			
産業	・ 美廃棄物の排出の抑制	川に関する	る事項					
		【前年周	要( 令和·	4 年度				
		産業原	廃棄物の	種類_	がれき類		混合廃棄物	
		<del></del> 排	出	量_	1322. 32	t	124. 18	t
	444	(これき	までに実施	 した取		ļ		
	①現状				め、現場における	廃棄物	発生量を削減。	
		【目標】						
		産業原	廃棄物の 🤊	種類_	がれき類		混合廃棄物	
		排	出	量_	1300	t	120	t
	②計画 ②計画	(今後)	実施する予	定の取	組)			
		今後も作業工法等の見直しを進め、 現場における廃棄物発生量の削減を図る。						
		7000000		1/4 /10	至。11126日20			
産業	<b>産棄物の分別に関す</b>	「る事項						
					物の種類及び分別			
	①現状		ソクス等を 敵底を図っ		従業員に自覚教育 。	ど美施	7 5 2 2 6	
		(今後分	別する予算	どの産業	<b>業廃棄物の種類及</b> で	が分別に	 こ関する取組)	
	②計画	今後もタ	分別ボック	スの設	置や従業員に自覚			
		分別の作 	散底を図る	0				

ら行う産業廃棄物の	の再生利用に関する事項				
	【前年度 ( 令和4 年度)	実績】			
	産業廃棄物の種類_	がれき類		混合廃棄	物
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 乗 物 の 量	0	t	0	t
①現状	(これまでに実施した取組)				
	これまでに自社で再生利用	を行ったことは	ない。		
	 【目標】				
	産業廃棄物の種類_	がれき類		混合廃棄	物
	自ら再生利用を行う	0	t	0	1
	産業廃棄物の量		·		'
②計画	(今後実施する予定の取組) 今後、自社で再生利用を行				
	7000 112 (112) 1/1/10 [11	) 1 /C100-04 · 0			
 ら行う産業廃棄物(					
	【前年度 ( 令和4 年度)	実績】			
	産業廃棄物の種類_	がれき類		混合廃棄	物
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0	t	0	1
①現状	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	0	t	0	1
	(これまでに実施した取組)		•		
	これまでに自社で中間処理	を行ったことは	ない。		
	【目標】				
	産業廃棄物の種類_	がれき類		混合廃棄	物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	t	0	1
②計画	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	0	t	0	1
	(今後実施する予定の取組)		•		
	今後、自社で中間処理を行				

型立処分又は海洋投入処分に 【前年度 ( 令和4 年度) 産業廃棄物の種類」 自海洋業廃棄物のした取組 でに自社で埋立処分 【目標】 産業廃棄物の種類 これまでに自社で埋立処分 【目標】 産業廃棄物の種類は 高洋業廃棄物の種類は 高洋業廃棄物の種類は 高洋業廃棄物の種類は 一個の一個のでででです。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実績】         がれき類         t         かれき類         0       t	混合廃棄物	t ``o
産業廃棄物の種類_ 自海洋投入を行の 自海洋投廃棄物した取組 (これまでに自社で埋立処分 とこれまでに自社で埋立処分 を対した取組 に対した取組 を対した取組 に対したで埋立処分をでしたで埋立処分をでは、 自洋投入をのでは、 を変になる。 を変になる。 は、 を変になる。 は、 を変になる。 は、 を変になる。 は、 を変になる。 を変にな。 を変にな。 を変にな。 を変にな。 を変にな。 を変にな。 を変にな。 を変にな。 を変にな。 を変にな。 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、	がれき類	で行ったことはない 混合廃棄物 0	t ···
海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) これまでに自社で埋立処分 【目標】 産業廃棄物の種類 自済治費のの最近 高済のでは 高済のでは 高済のでは 高済のでのである。 (今後実施する予定の取組) 今後、自社で埋立処分また。 だに関する事項	) または海洋投入処分 がれき類 0 t	を行ったことはない 混合廃棄物	\`o
これまでに自社で埋立処分 【目標】 産業廃棄物の種類 自ら埋立処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) 今後、自社で埋立処分また	または海洋投入処分 がれき類 0 t	混合廃棄物	<u> </u>
産業廃棄物の種類 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) 今後、自社で埋立処分また	0 t	0	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) 今後、自社で埋立処分また	0 t	0	
海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組 今後、自社で埋立処分また 託に関する事項	)		t
(今後実施する予定の取組 今後、自社で埋立処分また が		う予定はない。	
	宝结】		
産業廃棄物の種類_	がれき類	混合廃棄物	1
全処理委託量_	1322. 32 t	124. 18	1
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t		1
再生利用業者への 処 理 委 託 量	1317. 17 t	0	1
認定熱回収業者への処理 委託 量	t		1
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t		1
(これまでに実施した取組)	)		
	全処理委託量_ 優良認定処理業者への 処理委託 型 再生利用業者 で 型で熱回収数 認定熱回収を シースを 認定性の シースを の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	全 処 理 委 託 量 1322.32 t 優良認定処理業者への処 理 委 託 量 t 再生利用業者への処 理 委 託 量 1317.17 t 認定熱回収業者への処 理 委 託 量 ま 設定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への t t	全 処 理 委 託 量 1322.32 t 124.18    優良認定処理業者への 処 理 委 託 量

(第5面)

	【目標】	, ш,	
	産業廃棄物の種類_	がれき類	混合廃棄物
	全処理委託量_	1300 t	120 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処理 委託 量	900 t	50 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	t	t
	(今後実施する予定の取 今後も、特定建設資材は		0
※事務処理欄			

産弟	美廃棄物の処理に係る	5管理体制	に関する事項				
	(管理体制図)						
			別紙	のとおり			
産業	美廃棄物の排出の抑制	川に関する	事項				
		【前年度	( 令和4 年月	度) 実績】			
		産業廃	棄物の種類_	ガラスくず、陶e ず、コンクリー		ゴムくず	
		排	出 量_	87. 41	t	4. 2	t
	①現状		でに実施した耶 等の見直しを追	対組) 進め、現場における	5廃棄物	発生量を削減。	
		【目標】					
		産業廃	棄物の種類_	ガラスくず、陶 ず、コンクリー		ゴムくず	
		排	出 量_	85	t	4	t
	②計画	今後も作	施する予定の取 業工法等の見直 ける廃棄物発生				
産業	<b>達廃棄物の分別に関す</b>	る事項					
	①現状	分別ボッ		医物の種類及び分別 が業員に自覚教育 。。			
	②計画	今後も分		業廃棄物の種類及 対置や従業員に自覚			

自ら行う産	業廃棄物の再	<b>F生利用に関する事項</b>				
		【前年度 ( 令和4 年度	度) 実績】			
		産業廃棄物の種類_	ガラスくず、陶磁器 ず、コンクリート<	計 で、ず	ゴムくず	
		自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量		t	0	t
①現状		(これまでに実施した取 これまでに自社で再生利				
		これは、くに自住、く丹土州	1四で11つにことばな	. <b>v</b> . <sub>0</sub>		
		【目標】				
		産業廃棄物の種類_	ガラスくず、陶磁器 ず、コンクリート<		ゴムくず	
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0	t	0	t
②計画		(今後実施する予定の取	· 双組)			
		今後、自社で再生利用を	行う予定はない。			
	SHA LA LALE					
目ら行り産	業廃乗物の「	中間処理に関する事項 ■【★欠席 / ◆和/ 欠局	<b>たくま</b> 】			
		【前年度( 令和4 年度	E)	무건		
		産業廃棄物の種類_	ず、コンクリートく		ゴムくず	
		自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	0	t	0	t
①現状		自ら中間処理により減量した 産 業 廃 乗 物 の 量	0	t	0	t
		(これまでに実施した取				
		これまでに自社で中間処	!埋を行ったことはな	: (		
		【目標】				
		産業廃棄物の種類_	ガラスくず、陶磁器 ず、コンクリートく		ゴムくず	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	t	0	t
②計画		自ら中間処理により減量する 産 業 廃 乗 物 の 量	0	t	0	t
		(今後実施する予定の取	双組)			
		今後、自社で中間処理を	行う予定はない。			
		1				

自员	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
		【前年度 ( 令和4 年度) 実績】				
		産業廃棄物の種類 ガラスくず、陶磁器く ず、コンクリートくず ゴムくず				
		自 ら 埋 立 処 分 又 は 海洋投入処分を行った 0 t 0 産 業 廃 棄 物 の 量	t			
	①現状	(これまでに実施した取組)				
		これまでに自社で埋立処分または海洋投入処分を行ったことはない。				
		【目標】				
		産業廃棄物の種類 ガラスくず、陶磁器く ず、コンクリートくず ゴムくず				
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 0 t 0 産業廃棄物の量	t			
	②計画	(今後実施する予定の取組)				
		今後、自社で埋立処分または海洋投入処分を行う予定はない。				
本土						
生身	美廃棄物の処理の委託 「					
		【前年度( 令和4 年度) 実績】				
		産業廃棄物の種類 ガラスくず、陶磁器く ゴムくず ボ、コンクリートくず ゴムくず				
		全処理委託量_ 87.41 t 4.2	t			
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t			
		再生利用業者への 処理委託量 21.09 t 0	t			
	①現状	認定熱回収業者への 処理委託量 t	t			
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への	t			
		(これまでに実施した取組)				
		特定建設資材は確実にリサイクルを行っている。				

(第5面)

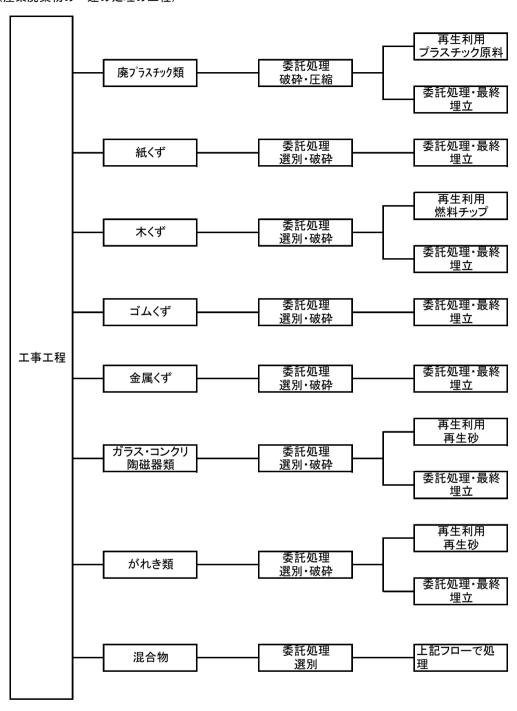
	【目標】								
	産業廃棄物の種類」 ガラスくず、陶磁器く ゴムくず ゴムくず								
	全処理委託量_	85 t	4 t						
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t						
	再生利用業者への 処理 委託 量	t	t						
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t						
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t						
	(今後実施する予定の取: 今後も、特定建設資材は		0						
※事務処理欄									

#### 備考

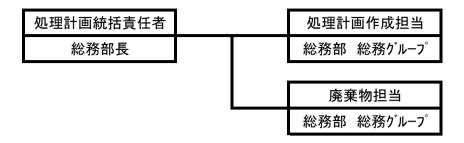
- 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。 1
- 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入するこ 3

  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。 (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請 完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応 じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するま での一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入するこ
- 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら 中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら 中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入するこ
- 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託 量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定 熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた 者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている 処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙の とおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄 物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄 に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がな いときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

### (産業廃棄物の一連の処理の工程)



# (管理体制図)



### **様式第二号の八**(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

	産業廃棄物の排出の抑制に関する事 項										
		【前年度(令和4年度) 実績】									
	①現状	産業原	<b>E棄物</b>	の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	混合物
		排	出	量	13.280 t	0.660 t	82.200 t	1.700 t	87.410 t	1032.990 t	120.500 t
		【目標】									
	②計画	産業原	<b>軽棄物</b> の	の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	混合物
		排	出	量	10.000 t	0.500 t	80.000 t	1.500 t	85.000 t	1000.000 t	100.000 t

# (第3面)

	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関 する事項									
		【前年度(令和4年度) 実績】								
	①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	混合物	
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	— t	- t	- t	— t	
		【目標】								
	②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	混合物	
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	— t	- t	- t	— t	
	ら行う産 る事項	芸業廃棄物の中間処理に関								
ľſ		【前年度(令和4年度) 実績】								
	①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	混合物	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	— t	- t	- t	— t	
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	– t	- t	– t	— t	— t	– t	
		【目標】								
	②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	混合物	
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	— t	— t	- t	- t		
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	– t	– t	— - t			– t	- t	

# **様式第二号の八**(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

	<ul><li>業廃棄物の埋立処分又は</li><li>☆公に関する事項</li></ul>								
一种技术	# 7 (元)								
O.78.415	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	混合物	
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	— t	– t	— t	— t	– t	
	【目標】								
@#J.#F	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	混合物	
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	– t	— t	— t	— t	— t	– t	
産業廃棄物	の処理の委託に関する事								
	【削牛度(令和4牛度) 宝緒】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	混合物	
	全処理委託量	13.280 t	0.660 t	82.200 t	1.700 t	87.410 t	1032.990 t	120.500 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	13.280 t	0.660 t	41.360 t	1.700 t	16.600 t	311.700 t	120.500 t	
①現状	再生利用業者への 処 理 委 託 量	6.350 t	0.000 t	46.110 t	0.000 t	21.090 t	1032.990 t	0.000 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	– t	— t	– t	— t	– t	– t	– t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	
	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	混合物	
	全処理委託量	10.000 t	0.500 t	80.000 t	1.500 t	85.000 t	1000.000 t	100.000 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	10.000 t	0.500 t	50.000 t	1.500 t	25.000 t	350.000 t	100.000 t	
②計画	再生利用業者への 処 理 委 託 量	10.000 t	0.500 t	50.000 t	1.500 t	25.000 t	1000.000 t	10.000 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	– t	– t	– t	– t	– t	– t	– t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t	– t	– t	– t	– t	– t	– t	